

生活を豊かにする楽しい活動・地域を明るくする社会活動

高壮だより

水戸
第47号

水戸市高齢者クラブ連合会広報紙

水戸市高齢者クラブ連合会 〒310-8610 水戸市三の丸1-5-48 水戸市高齢福祉課内

発行責任者 山川 庫

☎ 029-232-9174

<http://geocities.jp/mitokoku>

E-mail: mitokoku@yahoo.co.jp

編集協力・印刷

(株) 博報社 関東支社

神奈川県厚木市愛甲1-8-39

☎ 046-280-6001

記念式典盛大に開催！

= 新たな一歩を踏み出す =



水戸市高齢者クラブ連合会の50年の歩みを祝う記念式典および高齢者クラブ大会が、平成25年11月19日、茨城県立県民文化センター・大ホールで開催され、会員、家族、関係者など約1000人が出席した。

創立50周年記念式典および 高齢者クラブ大会



地域力をつける運動を目指して

市高齢者クラブ連合会
会長 山川 庫

水戸市長はじめご来賓の方々にご臨席をたまわり、誠にありがとうございます。ご来賓の皆様方の特別なご支援・ご協力をいただき、本式典が実現したことをご報告し、深く感謝申し上げます。

また、この記念すべき年に、受賞される役員・会員の皆様および特別表彰されるクラブの皆様、おめでとうございます。このようなすばらしい式典に加え、水戸空襲を含む戦争体験と東日本大震災の記録と教訓を含めた創立50周年記念誌「輝く50年 未来につなぐ絆」を会員自らの手で編集・刊行することができましたことを皆様と共に喜びたいと思います。

昭和38年に創立され、平成25年12月20日をもって満50年を迎えることができますのも、活動の礎を築いて下さった諸先輩方あってのことと感謝すると共に、新たな目標である①全国会員100万人増強運動、②地域にあっては、地域団体等と一丸となって地域に力をつける活動を展開していく所存です。高齢者クラブがその担い手のひとつとなっていくことを新たな目標といたしたいと考えております。(要旨)

式典では、来賓として高橋靖水戸市長、田口文明水戸市議会議員、岩上堯市社協会長、山口篤二県老連会長(代理岡崎事務局長)のご臨席をいただき、山川水戸市高連会長の式辞、定例表彰に続き、創立50周年にあたり、仲間づくり活動、健康づくり活動、ボランティア活動の各部門で功労のあったクラブを特別表彰した。それぞれの受賞者を代表した方が壇上で

晴れの表彰を受け、高瀬一男氏が一同を代表して謝辞を述べた。

最後に「健康・友愛・奉仕」活動の推進など、6項目の実践をうたった大会宣言文を朗唱・採択し、散会となった。





式典会場のロビー・
受付の様子と年表の展示



オープニング・セレモニーで
見事な演奏を披露した茨城大学吹奏楽団



市内の小中学校に配布予定の
記念誌と目録の贈呈式



代表して、水戸市立寿小学校・
水戸市立笠原中学校へ贈呈

水戸市高齢者クラブ連合会発足 50 周年おめでとうございます



初代会長
原田 幹蔵



第2 代会長
遠藤 勝義



第3 代会長
八代 金蔵



第4 代会長
浅野 良平



第5 代会長
櫻井 秋雄



第6 代会長
津田 政一



第7 代会長
荻輪 勇



第8 代会長
井坂 耕



歴代会長と記念大会で
あいさつする
第9 代会長 山川 庫

記念公演：
春風亭一朝師匠



昭和三十三年に結成された水戸市高齢者クラブ連合会は、それぞれの時代で重要な役割と活動を積み重ね、ここに創立五十周年の記念すべき年を迎えました。

この間、日本の社会は変遷を重ね、現在は高齢者が社会の四分の一を占める超高齢社会を迎え、高齢者は各種の問題をはらみつつも、社会に果たす役割はますます重要なものとなってまいりました。

今日、我々高齢者クラブは、高齢者の生きがい、社会参加、介護予防活動の推進母体として、地域社会に果たす役割をさらに重視して、いかなければなりません。

そして、日々の私たちの生活を充実し、地域でお互いに交わり見守りや支え合う仲間の活動を通じて、安全・安心な生活ができるように、積極的に行動を展開してまいります。

本日、ここに集う高齢者クラブ代表は、半世紀にわたり受け継がれてきた活動に思いを馳せ、新たな歴史の一步を踏み出すにあたり、全国統一テーマである「創造と連帯の心」を掲げ、二十一世紀を「スローガン」を掲げ、自主・協同のシニアライフの構築を目標とし、次の事項の実現を宣言します。

平成二十五年十一月十九日

市高連創立五十周年記念 水戸市高齢者クラブ大会

宣言

一、「老人クラブ二十一世紀プラン」「健康・友愛・奉仕」運動の推進

二、全国年間百万人の会員増強三年計画の推進

三、健康の維持・向上、生きがいづくり、介護予防活動の推進

四、社会貢献活動の支え手として、地域諸団体との連携の推進

五、「老人の日・老人週間」の取り組みの推進

50 周年記念大会で採択された「大会宣言」

「50 周年記念特別表彰」で
受賞されたクラブの
代表者の皆さん



50 周年記念大会のお祝いにかけつけた「みとちゃん」



「役員・会員表彰」で受賞された皆さん



女性委員手作りの
ストラップ



50 周年記念式典を祝う参加者

水戸市高齢者クラブ連合会発足 50 周年おめでとうございます

友愛活動の輪を広げよう

高齢者の「孤立」が社会問題になっていきます。人と人との関わりが少なくなっている現在の「孤立」は誰にでも起こりうることです。国や自治体でも、同世代の高齢者による「支え合い」に大きな期待が寄せられています。住み慣れた地域で長く暮せるように、仲間と心と心をつないで、笑顔のある暮らしを築きましょう。

地域で求められている活動

◆◆集いの場をつくらう

友だちだけではなく、地域の人とも出会え、気楽なおしゃべりや、買物の途中での休憩ができる「集いの場」をつくりませんか。社会福祉協議会で進める「ふれあい・いきいきサロン」事業では、サロン活動に対して助成(要申請)を行っています。

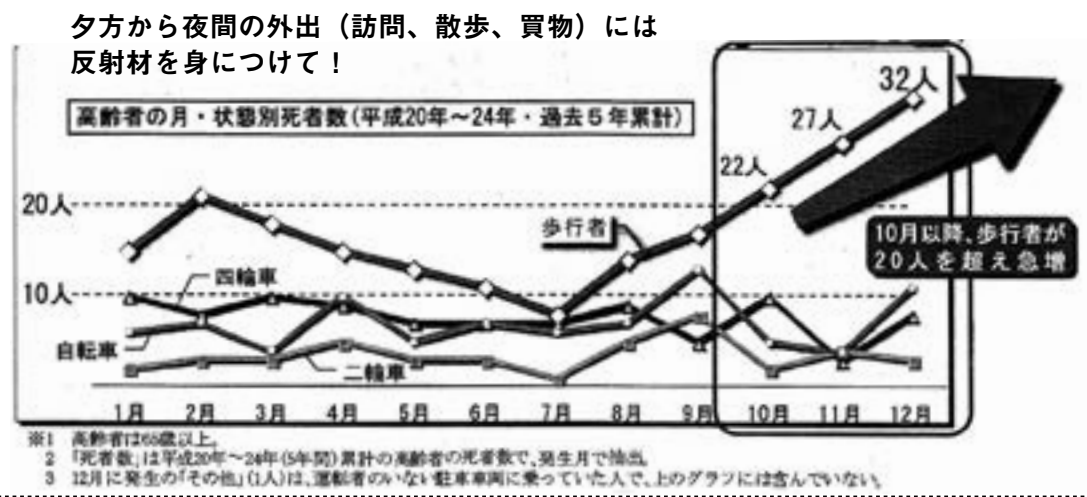
◆暮らしの支え合いを広げよう

部屋の電球を取り替えられない
ごみが重たくて出せない、買物に
出かけられない等々、そんな悩み
を抱えている仲間がいます。暮ら
しの支え合いは、ちょっとした困
りごとを、クラブの仲間同士がお
手伝いして支え合う活動です。

◆役立つ情報を届けよう

情報があふれている現代。しかし、必要な情報が届いていなかったり、活用されないままになっていることも少なくありません。ひとり暮らしや高齢者世帯、家族の介護で多忙な人、家に閉じこもりがちの人、そんな人たちに情報を届けましょう。

●生活に役立つ情報

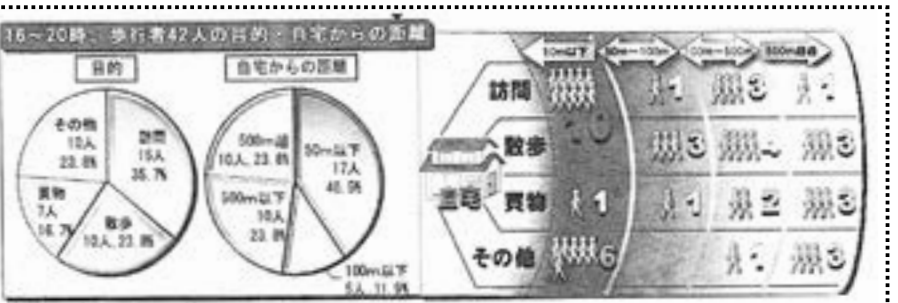


- 歩行者の10, 11, 12月における死亡事故が急増しています。
- 3が月の死者132人のうち歩行者が81人と全体の6割を占めています。

●3が月の死者132人のうち歩行者が81人と全体の6割を占めています。



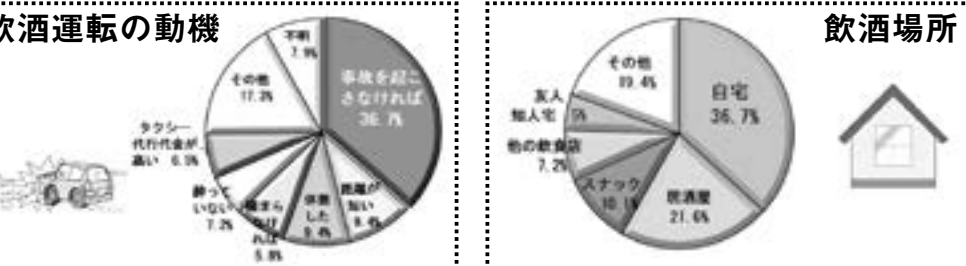
●亡くなった歩行者81人を時間帯別に見た統計が右図です。薄暮の時間帯から夜間（16時～20時）にかけて42人と飛びぬけて多くなっています。そのほとんどが反射材を身につけていませんでした。



- 16 時～20 時にかけて亡くなった方42 人の外出目的は訪問15 人、散歩10 人、買物7 人の順になっている。
- 自宅からの距離では半径50 m 以下が17 人と最も多い、約4 割を占める。

●自宅からの距離では半径50 m以下が17人と最も多い、約4割を占める。

(2)飲酒運転は悪質な故意犯です【茨城県警交通安全かわら版(平成24年12月 No.51)より】



- 「軽い気持」で飲酒運転をしようと思ったことはありませんか？ その行為が悲惨な結果をもたらすことを認識してください。
- 飲酒運転に「少しなら大丈夫」という甘い考えは一切通用しません。

●飲酒運転に「少しなら大丈夫」という甘い考えは一切通用しません。



- ① 70 歳以上の高齢者、13 歳未満の子とも、体の不自由な方は歩道を通行できる。
- ② 歩道を通行する場合はごちらの向きて通行してもよいが、歩道の中央から車道寄りの部分を徐行する。歩行者の進行を妨げるごことなるときは一時停止する。
- ③ 交差点では歩行者用信号に従って通行する。

●自転車で車道(路側帯)を通行の場合

①車道の左側によって通行する。また、路側帯を通行する場合でも、左側部分に設けられた路側帯を通行する

②左図の×印は違反。

③交差点では車両用信号に従って通行する。

平成25年12月1日
から自転車は
道路の右側の
路側帯を
通行できなく
なりました

水戸市高齢者クラブ連合会発足 50周年おめでとうございます

水戸市高齢者クラブ連合会発足 50周年おめでとうございます

**先輩に学ぶ会を
実施しました**
平成23年/12月/8日

石川高齢者クラブの方々4名に講師として来ていただき、戦争の話や、戦時中の人々の生活の様子などを話していただきました。

テレビなどで知っている戦争とはまた違った生のお話を聞くことで、現在の平和な社会に生きていることがいかに幸せであるかを改めて感じさせられました。また、高校受験や今後の生き方への励ましの言葉をいただきました。ありがとうございました。（水戸市立石川中学校のホームページから）



元気づけられる
子どもたちとの
交流会

石川地区高連
会長 大内 勝美

石川地区が行う子どもとの交流会は、小中学校や幼稚園側が企画・準備し、地区の高齢者クラブ会員が招待され講話や昔遊びを伝える形式で実施している。

「大先輩に学ぶ会」

石川中学校3年生との交流会、
毎年12月に実施。

高齡者クラブから講師を3、4人派遣し講話を行う。

① 高齢者の生き方を学び、生徒の進路希望等の参考にする。

②戦争当時の生活の様子を伝え、平和国家を継承していく役割の大

切さを学ぶ。
等が目的である。

戦争中の話を直接聞くのが始めてという生徒が多く、高齢者クラブ側としても高い次元の目標に応えられるよう資料などの準備を十分して対応している。

名に
争の
様子
。争と
こと
てい

した
/8日(木)
の方々4
だき、戦
生活の
きました
ている戦
話を聞く
に生き

が会を
施しま
12月
クラブの
ていたか
人々の
いただき
で知って
生のお話
な社会

2013

全国老人クラブ連合会表彰

優良老人クラブ
百合が丘ビアクラブ
会長 佐竹 信英

健康づくり部門活動賞
新住吉明星会
会長 鈴木 春夫

クラブ主導で地域の防犯、幼稚園・小学校との交流を企画、実施している。

特に会員による「書道教室」は指導も本格的であり高齢者クラブの活動としては全老連でも注目し、全老連広報紙でも紹介されたほか、「老人クラブ活動マップ2012」でも紹介されている（左の写真）。

活動は会長から会長へと代々引き継がれ、より活発な活動としてクラブが成長していることから、県老連の推薦を受け今年度表彰されることとなった。すでに、2010年に「ボランティア部門活動賞」を受賞している。（会員数41人）



希薄化しつつある隣近所

づきあい、同じ町内の子どもや父母の顔・名前も知らないという風潮に危機感を感じ、子ども会育成会に呼びかけ、町内の高齢者から若い世代、子どもたちとのコミュニケーションを図る事業を企画、実施している。

平成18年から「輪投げ大会」、19年から「いちご狩り」、20年から「ラジオ体操」と年々企画を増やし継続、実施している。

特に、夏休みのラジオ体操には高齢者、子どもおよび父母も一緒に参加することで健康づくりの一環としてだけでなく、地域活性化に大いに役立っている。事



業を始めたことにより、地域コミュニティが密になり、地域の防犯、交通安全対策にも大きな成果をあげている。（会員数43人）

ボランティア部門
活動賞
水戸市高連女性委員会
代表 板越 玲子

女性委員のメンバーには、民生委員や女性会役員など

が多く、本来高い活動能力を持つているが、地区単位クラブでは中核になって活動する機会や役割が少ないのが現状である。また、女性委員の活動意識も消極的なものであった。

東日本大震災をきっかけに女性委員、女性会員が力を合わせて作った「手づくり品」を被災地へ寄贈するという目標を掲げた活動で、一気に気運が高まり活動が活発化していった。

また、25年1月に発足した「水戸市安心・安全見守り隊」への参画において、連合会長は「地域を一番把握しているのは、家庭を守り、近所づきあいも経験豊かな女性の皆さんである。地域の現状や問題を見つめ、取

編集後記

水戸市高齢者クラブ連合会創立50周年記念式典にあたり「見ればただ 何の苦もなき水鳥の 足に暇なきわが思ひかな」という光圀公の歌が重なります。

この式典は、多くの方による努力の積み重ねと皆様のご支援あつて開催できることで、ただ情性で来た50年ではありません。

「高壮だより水戸」では、この皆様の努力、知恵、生き方を広くお知らせすることで、社会に役立つ高齢者クラブ会員、健康で明るい人生の参考になればと、編集委員一同努力しております。（大里公雄）



広報委員会

副会長 羽田 和一
同 板越 玲子
委員長 清水 昭郎
副委員長 柴田 隆治
委員 酒出 卓治
同 杉山 さた
同 大里 公雄

スポンサー各位への御礼

このたびは、水戸市高齢者クラブ連合会広報紙「高壮だより水戸」の発行にご協賛いただきましてありがとうございました。

高齢者クラブは、高齢者の①生きがいや健康づくり ②地域奉仕や友愛活動 ③子どもとのふれあい活動などの社会活動を通して明るい長寿社会づくりに努めることを活動目的としております。

広報紙は、会員相互の親睦・交流のほか、地域の皆様に活動をご理解いただき、新規加入をお願いする目的も持っております。これからもご支援、ご理解の程よろしくお願いいたします。

水戸市高齢者クラブ連合会
会長 山川 庫

水戸市高齢者クラブ連合会発足 50周年おめでとうございます
